



## 申年の想い

住職 奥村孝司

新年を迎え、お檀家の皆様方には健やかに過ごしのことと拝察申し上げます。昨年中は、智恩寺のためにご理解ご協力を賜りました。お蔭様で庫裡新築という大事業推進を決断されましたことは、智恩寺四百年の歴史に新たなページが記された年でもありました。反面、世間は、思いもしない事件や事故との遭遇。行く道に不安が過ぎる毎日でもあります。

ある方から、「よく信仰が足りないとか言っけれどそれは、感謝の気持ちが足りないだけなのではないのか。信仰するということは感謝の気持ちを忘れないということだ」と指摘されました。なるほどなと思います。言葉だけでなく、優しい笑顔やさりげない仕事など言葉にださなくともできる表現の仕方は沢山あります。自分の内に感謝することから始めましょう。「自分を誉めてあげたい」といったマラソン選手のように。心を耕し、家庭を耕し、そしてお寺を耕す。庫裡建設という大事業達成のために、物心両面からのご喜捨をよろしく御願ひいたします。申年、くれぐれも木から落ちぬよう元気で過ごしたいと思えます。今年も何卒よろしく御願ひいたします。

## 新年の挨拶

筆頭総代 加藤 弘

二〇〇四年を迎えるにあたり、お檀家の皆様方のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

日頃、智恩寺の護持運営につきまして変わらぬ暖かいご理解とご協力を賜りまして感謝申し上げます。

昨年は、特に庫裡建設についてご理解を頂きまして心から御礼申し上げます。お蔭様で庫裡建設の積立金も計画通り頂いております。額に汗して働く尊い姿の方々より、積立金へと廻して頂き、頭の下がる思いで一杯でございます。四百年の歴史と伝統のある智恩寺に密かな誇りを感じております。

ケネディ大統領が「松明(たいまつ)は新しい時代に引き継がれた」と提唱されたのと同じく、智恩寺の松明も先代の方々により、力強い光を添えて新し

## えん じゅ ばん ぜい 延 寿 萬 歳

今年もよろしくおねがいたします  
平成十六年元旦

神余山 智恩寺



い世代へと引き継がなければならないと痛感せざるを得ません。

先代の方々の人生は、戦争の繰り返してあります。関東大震災も体験し、苦難の連続の中で智恩寺の本堂の建設を成し遂げました。

苦勞に苦勞を重ねたと伺っております。偉大な業績に感謝いたしており、私は良き時代に生を受けたと思っております。

庫裡建設も老朽庫裡との巡り合わせですので、歴史に残る庫裡建設の実現に努力いたしますと共に皆様のお力添えを頂いて、更に智恩寺発展の為に頑張っていきたいと思えます。今後ともご支援とご協力を御願ひ申し上げます。

## 庫裡建設経過報告

いよいよ昨年9月から寄付の御願ひならびにご入金を頂いております。尊い仏行、有難く拝受申し上げますと共に引き続きご納金を御願ひ申し上げます。ご不明の点は、各地区の委員さんかお寺までお問い合わせください。次回の建設委員会は、1月12日役員会を兼ねて行う予定です。

## 過去帳調査の御願ひ

智恩寺に伝わる檀家過去帳の整理をその都度してきました。当時の世相をその体裁から知りえる貴重かつ閲覧公開することはできない寺宝であります。明治前後～大正・昭和中期の過去帳を見ると日にち別に記載されていきました。先々代である片桐住職からそれらを引継ぎ、そのスタイルを各檀家戸別にと進めてまいりました。然しながら、各お檀家にある過去帳は、100年前からの物も存在しており、お寺の過去帳を整理する上では必要不可欠なことであります。出来れば、ご尊家の過去帳を照合させていただきたく存じます。今後、法事の折や何かの御用でお寺にお越しの折は、過去帳をお持ちいただけたら幸いです。何卒、ご協力御願ひ申し上げます。

## 暮らしの中の仏教語

### 「喜捨(きしゃ)する」

“喜んで布施する” 功德を教えています。同時に読んで字のごとく「捨てる喜び」を知ることでもありましょう。便利さを求めて集めたものが、かえって生きる邪魔にならないように、物でも知識でも余分に集める愚かさや気づき、むしろそうした“ぜい肉”を削り取って、いわゆるスリムになってみたらどんなに楽になることでしょうか。

バイキング 欲張りすぎて 食べ残し

